

[Amagasaki Castle Takiginoh Performance]

“Tsuchigumo”

日時 令和7年10月6日(月)

17:30開演 雨天中止

会場 尼崎城野外能舞台 〈阪神尼崎駅徒歩5分〉
兵庫県尼崎市北城内27

Monday October 6, 2025 5:30p.m – 8:30p.m

混雑状況によっては、入場制限を行います。ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

入場
無料

Admission Free



お越しの際は、
公共交通機関を
ご利用ください。

尼崎薪能

第46回

〈番組〉

尼崎こども能楽教室

仕舞 高砂

鉄松 風

火入れ式

能 『土蜘蛛』



【お問い合わせ先】 公益財団法人 尼崎市文化振興財団 TEL.06-6487-0910 FAX.06-6482-3504

■主催＝(公財) 尼崎市文化振興財団・尼崎市・尼崎能楽会・(公財) 兵庫県芸術文化協会・兵庫県地域文化団体協議会・阪神南文化振興団体連絡協議会

■協賛＝(一財) 尼信地域振興財団・尼崎ロータリークラブ・尼崎文化協会

尼崎薪能番組

令和七年十月六日（月）午後五時三十分始め

尼崎こども能楽教室 仕舞

仕舞

高砂

山村啓雄

吉井紹智

松風

吉井基晴

地謡

寺澤幸祐

鉄輪

梅若堯之

藤井丈雄

火入れ式

能

頼光 梅若基徳

トモ 梅若雄一郎

胡蝶 赤井きよ子

僧 土蜘蛛の精 大西礼久

土蜘蛛

佐々木秀

福王知登 喜多雅人

大村滋二 古田知英

中田一葉 赤井啓三

間

善竹忠亮

後見 寺澤幸祐 吉井基晴

地謡

田中誠士 上田顕崇 藤井丈雄

梅若堯之 藤井完治 上野雄三

附祝言

解説

能【土蜘蛛】つちぐも

<あらすじ>

病気で臥せる源頼光（みなもとのらいこう）のもとへ、召使いの胡蝶（こちょう）が、処方してもらった薬を携えて参上します。ところが頼光の病は益々重くなっている様子です。胡蝶が退出し、夜も更けた頃、頼光の病室に見知らぬ法師が現れ、病状はどうか、と尋ねます。不審に思った頼光が法師に名を聞くと、「わが背子（せこ）が来（く）べき宵なりささがにの」と『古今集』の歌を口ずさみつつ近付いてくるのです。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物でした。あっという間もなく千筋（ちすじ）の糸を繰り出し、頼光をがんじがらめにしようとするのを、頼光は、枕元にあった源家相伝の名刀、膝丸（ひざまる）を抜き払い、斬りつけました。すると、法師はたちまち姿を消してしまいました。

騒ぎを聞きつけた頼光の侍臣独武者（ひとりむしゃ）は、大勢の部下を従えて駆けつけます。頼光は事の次第を語り、名刀膝丸を「蜘蛛切（くもきり）」に改めると告げ、斬りつけはしたものの、一命をとるに至らなかった蜘蛛の化け物を成敗するよう、独武者に命じます。独武者が土蜘蛛の血をたどっていくと、化け物の巣とおぼしき古塚が現れました。これを突き崩すと、その中から土蜘蛛の精が現れます。土蜘蛛は千筋の糸を投げかけて独武者たちをてこずらせますが、大勢で取り囲み、ついに土蜘蛛を退治します。

<みどころ>

源頼光は、平安時代中期の清和源氏（せいわけんじ）の棟梁で、鬼退治で有名です。この、いわゆる頼光伝説を題材とする能には、「土蜘蛛」のほかに「大江山」「羅生門」などがありますが、いずれも頼光自身ではなく、四天王【渡辺綱（わたなべのつな）、坂田公時（さかたのきんとき）、碓井貞光（うすいのさだみつ）、卜部季武（うらべのすえたけ）】や独武者などの家来が活躍するのが特徴です。頼光伝説の源は、源氏に代々伝わった名剣についての語り物にあるようです。「土蜘蛛」の中でも「膝丸」を「蜘蛛切」に改名したというエピソードが語られています。

「土蜘蛛」のみどころは、シテが和紙でつくられた蜘蛛の糸を投げる場面でしょう。現在のように沢山の糸を投げる演出は、明治初期の金剛流家元、金剛唯一が工夫したものとされています。白い蜘蛛の糸が放物線を描いて宙に浮く様子は、ショー的要素が強く、見た目にも華やかです。